

「歴史と文学、いで湯の町」城崎温泉創業 350 年の宿

兵庫県・城崎温泉【山本屋】

【記事投稿者：代表取締役社長：結城俊輔】

志賀直哉の「城の崎にて」はお読みになっておられますか？

多くの文人墨客たちに愛されてきた当地「城崎温泉」、これ以外にも城崎を取り上げた文芸作品は、数限りなくたくさんあります。

城崎温泉のキャッチフレーズは、「歴史と文学、いで湯の町」であり、さかのぼれば奈良時代から既に湯治場として知られていたようで、日本で最古の温泉に数えられている中の一つでもあります。

城崎の特徴は小規模旅館が町中に建ち並び、大谿川の清流に架けられた太鼓橋、川沿いの柳、桜の並木道、古き良き温泉場という、極めて情緒溢れるところです。



春から夏、秋と点在する七つの外湯を、色とりどりの浴衣姿で下駄の音を響かせながら巡る若い女性が醸し出す雰囲気、街並みにとけ込んでとても素敵です。

一転して冬は、雪の中を静かに廻る七つの外湯、しっとりとした大人の雰囲気。寒さに味を増す名物松葉蟹は、地酒に正にピッタリ。夜の更けるのも忘れるほどです。街の中心に、古くから海内第一泉と称された外湯の随一「一の湯」。当館はその隣に所在しております。

城崎で最も古くから続いていると言われる当館「山本屋」は、江戸初期に出された温泉案内にも既にその名が出ているほどです。柳しだれる大谿川に面して建つ木造三階、昔から変わらぬ風景に山本屋は在り続けております。

宿屋らしい宿屋とはなにか、いつもその答えを考えてきたように思います。



数年前、城崎温泉に新しい風をと考え当館の直営工場で「地ビール」の醸造を始めました。それが「城崎ビール」です。四つの異なる味をデザイン大賞に輝いた素敵な小瓶に詰め、それぞれに海、空、川、雪と名付けております。何がお好きでしょうか。是非、飲み比べに訪れて下さい。そして冬の松葉蟹と並ぶ美味しさの当地特産の但馬牛も是非一緒に御賞味の程を。

当館では昨年、京町屋風に少し改造いたしました。お客様ご自身があるがままに時を過ごしていただける空間をと考えた結果でした。

古き良きものを受け継ぐ、いつまでも快適な宿でありたいと念じております。



兵庫県 豊岡市 城崎温泉

山本屋

〒669-6101 兵庫県豊岡市城崎町湯島 643

Tel : 0796-32-2114